

流通合理化事業活動の概要



事業者：十和田おいらせ農業協同組合

計画概要

老朽化等により処理能力が低下している複数の洗浄選別施設を1か所に集約し、高性能な選別機の導入及び冷蔵庫の改修・能力強化を行うことで、にんじんの処理能力の向上、労働生産性の向上に取り組む。

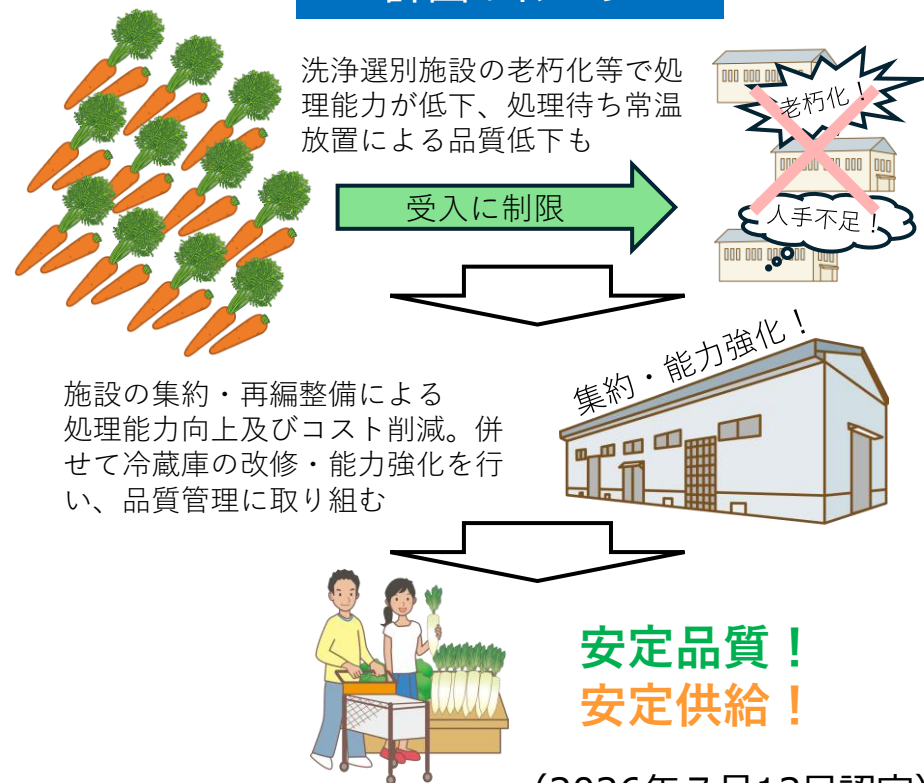
目標

にんじんの処理量の増加や品質の向上による収益増、施設の集約によるコスト削減等により、目標年度（令和10年度）までに、1時間あたり労働生産性を、現状の7,748.92円から9,730.35円（25.6%増）に向上させる。

食料システムへの寄与

施設の集約により、効率的な選果体制・出荷体制を実現し、生産者の適期収穫に寄与するとともに、冷蔵庫の改修・能力強化により品質管理に取り組むことで、実需者へ安定した品質の商品を継続的に供給することに寄与する。

計画のイメージ



(2026年7月13日認定)